

事務事業評価調書

担当課	建設水道部	上下水道課	温泉係	事務事業No.	1714107	
事務事業名	温泉供給事業					
会計	一般会計	款	7	項	1	
				目	4	
総合計画	まちづくりのテーマ	第4節 豊かな自然を守り快適に生活できるまち			前期計画掲載頁	80
	施策目標	自然と共生した環境の創造				
	施策項目	安定した温泉の供給				
個別計画					頁	
事務事業の目的	対象（誰を・何を）			意図（どういう状態にしたいのか）		
	市の観光振興と市民福祉の向上を図る為。			源泉の保全と温泉の有効活用をする。		
主な業務内容	源泉を保全し、利用者に安定して温泉を供給するため、日常点検を通じて施設を適切に管理し、老朽化の著しい施設は計画的に更新を行う。					

【事務事業の実績】

事業費	年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		
	総事業費（決算額）		75,920,048	円	60,211,971	円	59,611,061	円	
	財源内訳	特定財源	60,646,680	円	60,211,971	円	59,611,061	円	
一般財源		15,273,368	円		円		円		
活動指標	指標名		平成29年度	平成30年度	令和元年度	前年度（R1）	達成率	次年度（R2）	
	単位		実績値	実績値	実績値	目標値	（%）	目標値	
	①	日常点検	日	236	244	242	242	100.0%	242
	②	温泉郷配湯管更新	m	829	441	292.5	298	98.2%	200
③									
成果指標	1. 数値で表せる指標		平成29年度	平成30年度	令和元年度	前年度（R1）	達成率	次年度（R2）	
	指標名		実績値	実績値	実績値	目標値	（%）	目標値	
	①	上原地区供給湯量	ℓ/分	45.0	45.0	43.5	45.0	96.7%	43.5
	②	高瀬分譲地供給湯量	ℓ/分	177.0	169.5	168.0	169.5	99.1%	168.0
	③	温泉郷配湯管更新率	%	46.0	57.5	65.1	65.5	99.4%	70.4
2. 数値で表せない効果（指標）									

【事業の評価】

評価	項目	必要性		有効性		効率性		今後の方向性	方向性	評価点合計
		事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化			
		高い	普通	高い	重複なし	高い	適正である			
	点数	3	2	3	3	3	3	継続	17	
										18
評価理由	温泉供給事業は、市の観光振興、住民福祉の向上に寄与する重要なものである。この温泉を利用者が安心して利用できるよう適切な維持管理に努めるとともに、老朽施設の適宜更新を進めていく。									

【具体的な課題と改善】

事業に対する課題について（目的に対する現状など） 上原地区と高瀬分譲地へは安定した温泉を供給している。 大町温泉郷では、配湯管の老朽化が著しく、漏湯の発生が多く見られることから、漏湯の解消と安定供給を図るため、配湯管更新事業を令和5年度までの計画で取り組んでいる。
改善の方法等（上記の課題をふまへ次年度以降に実施する具体的な改善の内容） ○継続して大町温泉郷内の老朽配湯管の更新を実施し、安定供給体制を確保する。 ○高瀬分譲地の契約者に設置している流量管理ボックスの老朽化に伴い、随時交換して配湯の安定供給に努める。

事務事業評価調査

担当課	建設水道部	上下水道課	水道施設・経営係	事務事業No.	122111			
事務事業名	水道施設整備事業							
会計	公営簡易水道事業特別会計		款	2	項	1	目	1
総合計画	まちづくりのテーマ	第4節 豊かな自然を守り快適に生活できるまち			前期計画掲載頁	92	頁	
	施策目標	自然と共生した環境の創造						
	施策項目	上下水道及び公営簡易水道の整備など水資源の保全と活用						
個別計画	大田市水道ビジョン						頁	
事務事業の目的	対象（誰を・何を）			意図（どういう状態にしたいのか）				
	<ul style="list-style-type: none"> 18か所ある水源の涵養機能の維持 老朽管路・施設の計画的更新 			水源水質保全の強化に努め、更新時期を迎える管路・施設の耐震化を促進し、安全な水道水を安定して供給することを目的としている。				
主な業務内容	<ul style="list-style-type: none"> 水道水源の保全や計画的な水質検査 計画的な老朽管路・施設の更新と耐震化の推進 適正な水道料金の賦課・徴収により安定的な運営 							

【事務事業の実績】

事業費	年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度	
	総事業費（決算額）		52,768,800	円	66,100,650	円	57,885,359	円
財源内訳	特定財源		52,768,800	円	66,100,650	円	57,885,359	円
	一般財源			円		円		円

活動指標			平成29年度	平成30年度	令和元年度	前年度（R1）	達成率	次年度（R2）
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	（%）	目標値
①	送配水管路更新延長	m	248	760	64	350	18.3%	600
②								
③								

成果指標	1. 数値で表せる指標		平成29年度	平成30年度	令和元年度	前年度（R1）	達成率	次年度（R2）
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	（%）	目標値
①	管路耐震化率	%	18.9	19.3	19.3	19.6	98.5%	19.7
②								
③								

2. 数値で表せない効果（指標①）

【事業の評価】

評価	項目	必要性		有効性		効率性		今後の方向性	方向性	評価点合計
		事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化			
		評価	高い	高い	高い	重複なし	普通			
点数	3	3	3	3	2	3	18			

評価理由
施設の保守管理を適正に実施し、電気計装機械の更新、減圧弁設置等により使用者が安心して水道を使用することができた。また、新年度において水源涵養林として水源周辺の用地を購入するため土地所有者と協議を始め水源保全にも努めていく。

【具体的な課題と改善】

事業に対する課題について（目的に対する現状など）
小規模な水源と配水池等により中山間地に点在する集落への水道水の供給にあたっては、地理的・地形的な条件が厳しく管路延長も長く、水道施設の電気計装・機械設備も数多くある。安全な水道水の安定的供給を図るためには、必要度や緊急度に応じた計画的な管路の布設替や計装設備の更新は今後も必要となる。給水人口の少ない簡易水道では施設の維持管理費や建設改良費が割高となるため、料金収入のみの経営は難しく一般会計繰入金に依存している状態となっている。
改善の方法等（上記の課題をふまえ次年度以降に実施する具体的な改善の内容）
安心・安全な水道水の安定的供給を確保するため、計画的な管路の布設替や計装設備の更新を図る。また、国は地方公営企業法の非適用事業に対し資産情報や損益情報の的確な把握により経営の効率化を推進するため、法適用による事業運営を要請している。大田市簡易水道審議会を活用し、今後の事業運営について検討していく。

事務事業評価調査

担当課	建設水道部	上下水道課	水道施設・経営係	事務事業No.	401111			
事務事業名	水道事業							
会計	水道事業会計		款	1	項	1	目	6
総合計画	まちづくりのテーマ	第4節 豊かな自然を守り快適に生活できるまち				前期計画掲載頁	91	頁
	施策目標	自然と共生した環境の創造						
	施策項目	上下水道及び公営簡易水道の整備など水資源の保全と活用						
個別計画	大田市水道ビジョン							頁
事務事業の目的	対象（誰を・何を）			意図（どのような状態にしたいのか）				
	<ul style="list-style-type: none"> 9か所の水源（予備を含む）の涵養機能の維持 老朽管路、施設の計画的更新 			水源水質保全の強化に努め、更新時期を迎える管路・施設の耐震化を促進し、安全な水道水を安定して供給することを目的としている。				
主な業務内容	<ul style="list-style-type: none"> 水道水源の保全や計画的な水質検査 計画的な老朽管路・施設の更新と耐震化の推進 適正な水道料金の賦課・徴収により安定的な運営 							

【事務事業の実績】

事業費	年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度	
	総事業費（決算額）			226,298,506	円	266,123,090	円	349,001,020
財源内訳	特定財源		8,197,606	円	5,852,580	円	6,464,120	円
	一般財源		218,100,900	円	260,270,510	円	342,536,900	円

活動指標			平成29年度	平成30年度	令和元年度	前年度（R1）	達成率	次年度（R2）
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	（%）	目標値
①	送配水管路更新延長	m	2,604	1,332	1,591	1,593	99.9%	1,100
②								
③								

成果指標	1. 数値で表せる指標		平成29年度	平成30年度	令和元年度	前年度（R1）	達成率	次年度（R2）
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	（%）	目標値
①	管路耐震化率	%	6.4	6.6	7.0	7.0	100.0%	7.3
②								
③								
2. 数値で表せない効果（指標①）								

【事業の評価】

評価	項目	必要性		有効性		効率性		今後の方向性	方向性	評価点合計
		事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化			
		評価	高い	高い	高い	重複なし	高い			
点数	3	3	3	3	3	3	18			
評価理由		施設の保守管理を適正に実施し、使用者が安心して水道を使用することができた。送配水管の布設替を6工区で実施、老朽管路の更新と耐震化を図るとともに、配水池侵入柵設置工事を実施し水道施設の安全対策にも努めた。								

【具体的な課題と改善】

事業に対する課題について（目的に対する現状など）
収益的収入において、給水収益は給水人口の減少と節水志向のため、減少傾向は今後も続くものと考えられる。原水供給収益は安定的に推移しており、給水収益の減少を補う重要な収益源となっている。 送配水管の更新により管の耐震化を図り自然災害へ備える必要があり、今後もこれら更新事業に併せ設備の更新を計画的に行っていく。併せて、投資と現金収支のバランスに留意し、将来の配水池築造等の大規模投資のための留保資金の確保のため健全な財政運営を継続する必要がある。
改善の方法等（上記の課題をふまへ次年度以降に実施する具体的な改善の内容）
安心で安全な水道水の安定的な供給のため、老朽施設の計画的な更新を行う。本年度から南平配水池の更新事業を開始し、併せて三日町配水池の更新についても計画していく。有収水量の減少が今後も見込まれるが水道事業会計の安定的な経営のため経営審議会等を活用し検討していく。

事務事業評価調書

担当課	建設水道部	上下水道課	温泉係	事務事業No.	401111			
事務事業名	温泉引湯事業							
会計	温泉引湯事業会計		款	1	項	1	目	1
総合計画	まちづくりのテーマ	第4節 豊かな自然を守り快適に生活できるまち			前期計画登載頁	80	頁	
	施策目標	自然と共生した環境の創造						
	施策項目	安定した温泉の供給						
個別計画								頁
事務事業の目的	対象（誰を・何を）			意図（どういう状態にしたいのか）				
	市内の産業振興と地域開発、市民福祉の向上を目的とする。			貴重な地下資源である温泉を供給することにより、市内の産業と市民に寄与する。				
主な業務内容	源泉から集めた温泉を上原分湯槽まで、約7.8km引湯し、契約者に温泉を供給する事業で、24時間安定して温泉を供給するため、源泉や引湯施設の適切な維持管理と計画的な更新を行う。							

【事務事業の実績】

事業費	年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		
	総事業費（決算額）		6,933,600 円		16,251,732 円		44,539,000 円		
	財源内訳	特定財源	円		円		円		
一般財源		6,933,600 円		16,251,732 円		44,539,000 円			
活動指標			平成29年度	平成30年度	令和元年度	前年度（R1）	達成率	次年度（R2）	
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値	
	①	供給件数	件	9	9	8	9	88.9%	8
	②	日常点検	日	242	241	242	242	100.0%	242
③	引湯管更新	m	60	132				122	
成果指標	1. 数値で表せる指標		平成29年度	平成30年度	令和元年度	前年度（R1）	達成率	次年度（R2）	
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値	
	①	年間総供給湯量	m ³	577,634	577,634	577,094	577,634	99.9%	577,094
	②	引湯管更新率	%	16.1	17.8	17.8	17.8	100.0%	19.3
	③	純利益（税抜）	千円	20,528	13,419	15,377	9,748	157.7%	5,799
	2. 数値で表せない効果（指標）								

【事業の評価】

評価	項目	必要性		有効性		効率性		今後の方向性	方向性	評価点合計
		事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化			
		評価	高い	普通	高い	重複なし	高い			
点数	3	2	3	3	3	3	18			
評価理由		温泉引湯事業は、契約者への温泉供給を通じて、地域振興に大きな役割を果たしている。今後も安定した湯量、温度を供給できるよう施設の適正な維持管理と老朽施設の計画的な更新に努めていく。								

【具体的な課題と改善】

事業に対する課題について（目的に対する現状など）
引湯施設は、葛から上原分湯槽までの延長7.8kmの引湯管のほか、集中管理室などの建物や設備も多くあり、その大部分が耐用年数を過ぎ更新の時期を迎えている。しかし、短期間での更新は困難である。施設の適切な維持管理で延命対策を講じ、安定的な温泉供給を確保していく。
改善の方法等（上記の課題をふまへ次年度以降に実施する具体的な改善の内容）
○温泉の安定供給を確保するため、引き続き優先度の高いところから計画的に施設更新を進めていく。 ○引湯事業の健全経営を維持し、施設更新の財源を確保のため、適正な料金水準を確保していく。

事務事業評価調査

担当課	建設水道部	上下水道課	下水道施設・経営係	事務事業No.	501213			
事務事業名	公共下水道事業会計							
計	公共下水道事業会計		款	1	項	1	目	1
総合計画	まちづくりのテーマ	第4節 豊かな自然を守り快適に生活できるまち			前期計画登載頁	93	頁	
	施策目標	快適な生活環境の形成						
	施策項目	下水道の整備と水洗化の促進						
個別計画	下水道長寿命化計画						頁	
事務事業の目的	対象（誰を・何を）			意図（どういう状態にしたいのか）				
	浄水施設の耐震化、長寿命化の促進 人口減少社会に向けた対応			<ul style="list-style-type: none"> ・生活排水処理施設の整備・更新の実施により公共用水域の水質保全と生活環境の改善及び汚水処理人口普及率の向上 ・施設の老朽化による更新費用の増加や、人口減少等による社会情勢の変化に対する維持管理費等の増加対策 				
主な業務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・大町浄水センター及び松川浄水苑の整備と安定的な運転管理 ・管渠及び下水道関連施設の整備及び適正な維持管理 ・施設の最適な改築更新、広域化の検討 							

【事務事業の実績】

事業費	年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度	
	総事業費（決算額）		927,200,186	円	794,105,219	円	792,874,560	円
財源内訳	特定財源		416,302,680	円	397,849,220	円	338,738,660	円
	一般財源		510,897,506	円	396,255,999	円	454,135,900	円

活動指標			平成29年度	平成30年度	令和元年度	前年度（R1）	達成率	次年度（R2）
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	（%）	目標値
①	新設管路延長	m	517	215	195	195	100.0%	50
②								
③								

成果指標	1. 数値で表せる指標		平成29年度	平成30年度	令和元年度	前年度（R1）	達成率	次年度（R2）
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	（%）	目標値
①	整備率	%	88.1	88.3	88.4	88.4	100.0%	88.5
	水洗化率	%	72.5	72.8	74.3	73.2	101.5%	74.3
	接続率	%	62.1	63.0	64.4	63.9	100.8%	64.4
2. 数値で表せない効果（指標①）								

【事業の評価】

評価	項目	必要性		有効性		効率性		今後の方向性	方向性	評価点合計
		事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化			
		評価	高い	高い	高い	重複なし	高い			
点数	3	3	3	3	3	3	18			
評価理由		施設の保守管理を適正に実施したことにより、使用者が安心して公共下水道を使用することができた。また、新規公共ますの設置工事と2工区の管渠工事により、汚水を適切に処理できるよう整備を行った。								

【具体的な課題と改善】

事業に対する課題について（目的に対する現状など） 今後は、経年劣化による機能低下や機能不全で、処理場及び管渠施設や設備の更新が必要となり、限られた財源による最適で計画的な改築更新が必要となる。また広域化・共同化の検討も積極的に進めていく必要がある。
改善の方法等（上記の課題をふまへ次年度以降に実施する具体的な改善の内容） 老朽施設の計画的な更新を行い、公共下水道事業会計の安定的な経営のため経営審議会等を活用し検討していく。ストックマネジメント計画の策定を順次進め、下水道施設全体における施設管理の中長期的な計画を作成する。広域化・共同化の具体的な背景について、県や関連町村と協議を行い、施設管理の最適な方法等を検討する。また、共同化についても一般廃棄物（し尿・浄化槽汚泥）の処理を含めた処理方法等の検討を行い、地域全体で調整を図っていく。

事務事業評価調書

担当課	建設水道部	上下水道課	下水道施設・経営係	事務事業No.	601211			
事務事業名	農業集落排水事業会計							
会計	農業集落排水事業会計		款	1	項	1	目	2
総合計画	まちづくりのテーマ	第4節 豊かな自然を守り快適に生活できるまち			前期計画掲載頁	93	頁	
	施策目標	快適な生活環境の形成						
	施策項目	下水道の整備と水洗化の促進						
個別計画	大田市農業集落排水事業最適整備構想					頁		
事務事業の目的	対象（誰を・何を）			意図（どういう状態にしたいのか）				
	浄水施設の耐震化、長寿命化の促進 人口減少社会に向けた対応			<ul style="list-style-type: none"> ・生活排水処理施設の整備による、農業集落の水質保全と生活環境の改善及び汚水処理人口普及率の向上 ・施設の老朽化による更新費用の増加や、人口減少等による社会情勢の変化に対する維持管理費等の増加対策 				
主な業務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・農業集落排水処理6施設の整備及び適切な運転管理 ・管渠及び関連施設の整備及び適正な維持管理 ・施設の最適な改築更新、広域化の検討 							

【事務事業の実績】

事業費	年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		
	総事業費（決算額）		61,750,722 円		66,584,783 円		65,775,494 円		
	財源内訳	特定財源	12,769,600 円		15,868,200 円		15,776,200 円		
一般財源		48,981,122 円		50,716,583 円		49,999,294 円			
活動指標			平成29年度	平成30年度	令和元年度	前年度（R1）	達成率	次年度（R2）	
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値	
	①	施設工事件数	件	3	2	5	5	100.0%	5
	②								
成果指標	1. 数値で表せる指標		平成29年度	平成30年度	令和元年度	前年度（R1）	達成率	次年度（R2）	
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値	
	①	整備率	%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0%	100.0
	②	水洗化率	%	91.7	92.0	91.0	92.4	98.5%	92.4
	③	接続率	%	79.6	79.9	79.9	80.1	99.8%	80.1
	2. 数値で表せない効果（指標①）								

【事業の評価】

評価	項目	必要性		有効性		効率性		今後の方向性	方向性	評価点合計
		事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化			
	評価	高い	高い	高い	重複なし	高い	適正である			
	点数	3	3	3	3	3	3		18	
評価理由		農業集落の水質保全と生活環境の改善が図られるよう電源装置の更新を行った。								

【具体的な課題と改善】

事業に対する課題について（目的に対する現状など）
<p>今後は、経年劣化による機能低下や機能不全で、処理場及び管渠の施設や設備の改築更新が必要となり限られた財源による計画的な更新が必要となる。また広域化・共同化の検討も積極的に進めていく。</p>
改善の方法等（上記の課題をふまへ次年度以降に実施する具体的な改善の内容）
<p>老朽施設の計画的な更新を行い、農業集落排水事業会計の安定的な経営のため経営審議会等を活用し検討していく。</p> <p>広域化・共同化の具体的な背景について、県や関連町村と協議を行い、施設管理の最適な方法等を検討する。</p> <p>なお、施設の更新等については、最適整備構想に基づき適切な対策を講じることとし、将来の維持管理費の算定を適宜行い、維持管理手法等の再検討をしていく。</p>